



ひびこれこうじつ

# 日々是好日 7月号

発行/ ミチヒロ胃腸内科クリニック 〒010-0041 秋田市広面字鍋沼 93-1

☎018-893-6655 ホームページ <http://www.michihiro-clinic.com>

雨で湿度が高く、ムシムシして不快指数の高い日が続いているかと思いますがいかがおすごでしょうか？暑い日には冷たいものを口にされるかと思いますが、冷たいものは内臓にダメージを蓄積しますので、朝方、夕方涼しいときなどは暖かいものをとるようお勧めいたします。

さて数年前から始めました**ヘリコバクターピロリ菌**の治療はだいぶ浸透して、ほとんどの方に周知されたのでないかと思われます。菌を除菌することにより、慢性胃炎の継続を絶ちきり、粘膜の萎縮（悪化）の進行にブレーキをかけて、間接的に胃癌の発生を抑制します。全体で3分の1、性別、年代別にみますと若い方ですと10分の1くらいまで発生を減らすと予測されております。

実際、除菌治療を行いますと、胃粘膜の炎症は改善し、浮腫みも発赤も、粘稠度の高い粘液の付着も解消し、半年から1年かけて、凹凸は少なくなって、表面が平滑になり、きれいな胃の粘膜に変わっていきます。ピロリ菌の再発は1%くらいですから、個々で改善の程度に差はありますが、たいてい1年後の検査で、きれいな胃粘膜を確認できます。正常粘膜に近くなった胃粘膜から、今まで炎症粘膜中に隠れていた微小胃癌を発見することがありますので1年後は必ず内視鏡を受けていただきたいと思っていますが、なかなか受けていただけていないのが現状です。除菌が成功したからと言って、今後も胃癌発癌の可能性はありますので、定期的な検査は受ける必要があります。（未感染者に比べては7倍といわれています）ましてや、**ピロリ菌がいたままになった胃粘膜は胃癌の発生が高い**ので、ご注意くださいと思います。

